

令和7(2025)年度学校における働き方改革実践報告会 高等学校

栃木県立茂木高等学校 教員数 41名



株式会社ワークライフバランス

【ありがたい姿】 担当クラス・学年・分掌関係なく皆が学校運営に関わることを自覚し、頼り合うことで、時間的余裕が生まれる。それにより教材研究や生徒との時間、プライベートな時間を十分に確保できる。

1. 部活動等による時間外労働時間の削減に向けての取り組み

(部活動の活動時間の適正化・練習メニューの効率化・副顧問との協力)
+ 模試監督割振りを全教員に拡大

2. 頼りあえる関係性強化や意識改革への取り組み

(行事前係打合せ・声掛け, ランチテーブルの設置, 月1回アンケートの実施)

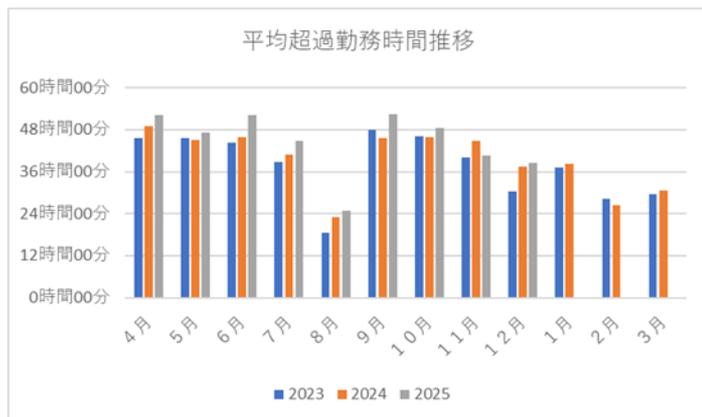
3. 会議時間、事務時間、テスト・教材作成など時間短縮への取り組み

(朝の打合を原則週3回に削減, 職員会議資料はデータで事前配布し追加説明と質問回答のみ, 現職教育の実施(AI活用など)、校務フォルダの有効活用)



ランチテーブル(上)

現職教育(下)



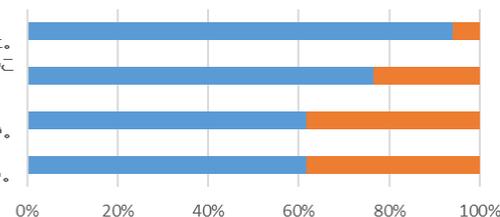
年度当初に比べて...

一人で悩まず他の先生に相談ができるようになった。
他の先生に協力を求められ、相談ののったり、仕事を手伝うことが増えたか。

教材研究や生徒の時間ををとれるようになったか。

プライベートな時間(趣味、家族など)がとれるようになったか。

■ はい ■ いいえ



○「相談しやすくなった」「頼まれて手伝える機会が増えた」 → **協働体制が確立しつつある**
○部活動の練習効率化とガイドラインの遵守、アンケートの継続、朝の打合せ削減...etc
→ **組織としての土台作り・個人としての意識付けができつつある**

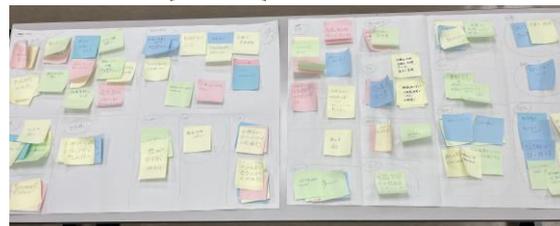
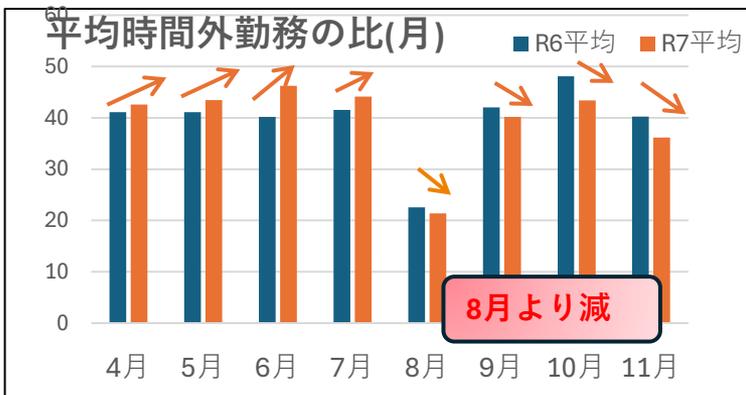
働き方改革は進んだ





「生徒のために」教員が自己研鑽を積みながら、充実した教育環境を整える。そのために、ワークライフバランスに配慮し、事務作業の効率化を図ることで、全職員が互いに助け合いながら、自分事として教育活動に主体的に取り組む学校。

- 1 会議（①ICT化②運営委員会→必要に応じての開催・規模縮小③職員会議時→40分短縮授業）
- 2 定時退庁日の設定（職員会議の日、部活動なし、生徒16:40下校 鍵当番17:30施錠完了）
- 3 最終退校時間の徹底（居残り簿+休日出勤の管理簿）
- 4 ノー清掃DAYの設定(木曜日+定期試験中の一部)
- 5 アンケートは原則formsで実施
- 6 部活動の統合



- ★ 時間外勤務が減少し、退勤時間が安定
- ★ 会議時間短縮とICT活用で業務効率化
- ★ 体制面での変化の実現。 ★ 意識面で、変化の必要性を教職員で共有

栃木県立鹿沼高等学校

職員数43名



株式会社ワークライフバランス

- ・原則稟議文書は、教務主任・主幹教諭・事務長・校長については、文書のみのお覧とする。
- ・保護者への連絡文書は極力一斉メールとする。
- ・保護者の出席確認を必要とするものはフォームズで。
- ・アンケート類(学校評価・生徒の授業評価・公開授業の感想等)はフォームズで。
- ・欠席連絡は保護者からのメールで対応する。
- ・職員会議はペーパーレスで実施する。
- ・会議・打合せの精選。

令和7年度時間外勤務時間



- 12月の超過勤務80時間以上の教職員が0人へ。
- 45時間以上の時間外勤務は、4月に21人だったが12月に13人に減少。

今後、朝刊(朝の打合せ資料)の生徒連絡はチームズでできないか検討中。

『 意見が言える 相談できる 支え合える

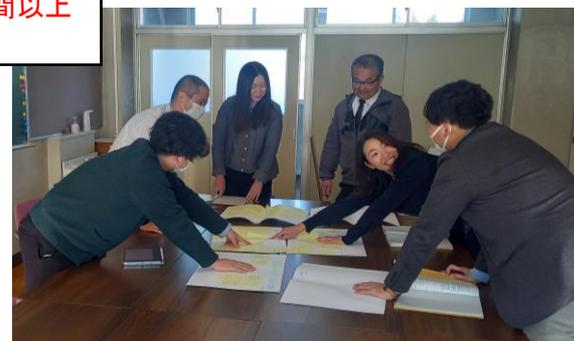
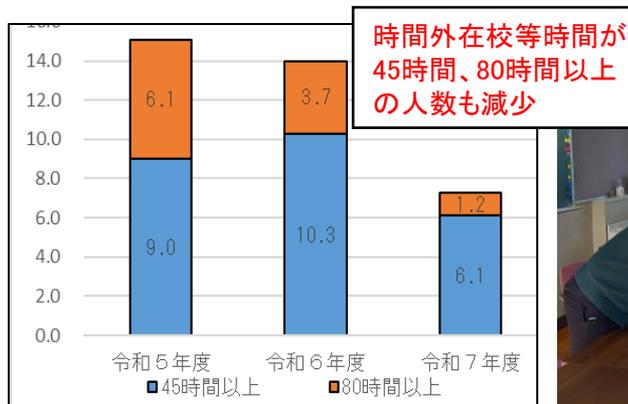
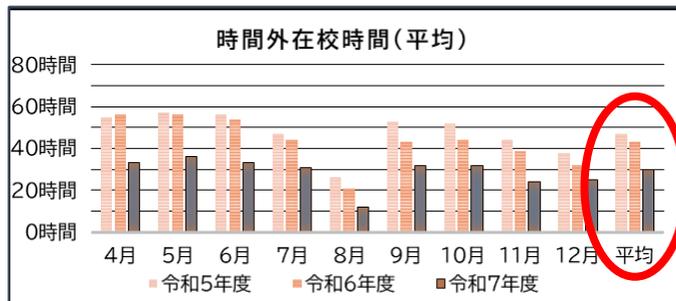
いきいきと安心して働けるチームワークがよい学校 』

【 主な取り組み 】

- 働き方改革、タイムマネジメント研修
- 欠席、遅刻連絡のデジタル化
- 校務フォルダの整理
- 校務分掌業務量調査の実施
- 成績処理期間の短縮日課
- 最終退勤時間の設定 等

◎ アンケートで肯定的な意見が90%以上だった項目

- ・ 気兼ねなく退勤、休暇の取得ができる雰囲気がある。
- ・ 情報交換やコミュニケーションが円滑にとれる雰囲気がある。
- ・ 悩みや困りごとを相談しやすい雰囲気がある。
- ・ 教職員間で連携・協働して校務や生徒の支援、指導が行われている。
- ・ 教職員間での報告・連絡・相談、情報共有が円滑に行われている。
- ・ 限られた時間を効率的、有効に活用できるよう意識している。



☆ R6年度から時間外在校時間が平均で約14時間減少

☆ R7年度(4~12月)の時間外在校等時間の平均が45時間未満 30人(全体の8割)

☆ 職場の雰囲気が良好で、職員間のコミュニケーションが円滑に図られていると感じている。

☆ 教職員間の情報共有が図られ、連携・協働して仕事ができていると感じている。